理系女子進学応援プロジェクト報告書

(2016 年度)

首都大学東京　理工学研究科

男女共同参画ワーキンググループ

2017 年 3 月

目次

1　はじめに……2
2　プロジェクトの趣旨……5
3　組織……6
4　平成 28 年度会計報告……8
5　活動報告
5－1　活動概要……9
5－2　活動内容……10
(1) 大学説明会
第１回｜大学生・大学院生による理系女子進学応援隊……10
第２回｜大学生・大学院生による理系女子進学応援隊……16
(2) 大学祭における展示と個別相談会……22
(3) 報告・交流会……28

1 はじめに

理工分野を中心とする日本の 80 あまりの学術団体が加盟する男女共同参画学協会連絡会が 2012 年に大規模アンケートを実施しました[1)]。このアンケートには大学院生・ポスドクを含む若手からシニアの研究者まで 16000 名を超える回答が寄せられました。そのアンケート結果によると、男女共同参画のために必要なこととして、2007 年に実施されたアンケート結果と比べて「女性の意識改革」が大きく増加したそうです。

エルゼビア社が 2017 年 2 月 6 日に公表した報告書「Gender in the Global Research Landscape」[2)]に 2011～2015 年の 5 年間に学術論文を発表した研究者のうち女性研究者の割合が紹介されています。日本は 20%で、対象 12 カ国・地域（米国、英国、カナダ、オーストラリア、フランス、デンマーク、ポルトガル、ブラジル、メキシコ、チリと EU）の中で最低でした。日本の次に女性比率が低かったメキシコとチリでも 38%であり、日本の低さが目立ちます。

理工系分野において、素質や能力に男女で大きな差がないとすると、相対的に女性の中に優れた人材が埋もれていることが現状の男女比から推察されます。小学、中学、高校と学年が上がるにつれて、理系科目や理系の進路に興味をもつ児童・生徒の男女比が男性に偏っていくのには、女性にバイアスしたバリアがあるのではないでしょうか。

科学と技術の発展のためには、それを担う人材の「多様性」が不可欠です。総務省統計局の平成 27 年度科学技術研究調査[3)]によると、日本における 2015 年 3 月 31 日現在の女性研究者の割合は 14.7%(13 万 6200 人)です。微増傾向が続いてはいますが、英国(38%)、米国(34%)、ドイツ（28%）など欧米諸国に比べてはるかに低く、同じアジア圏の韓国（18.5%）よりも低い割合です。[4)]。

より多くの女子高校生が理系に進学するようになれば、学生の多様性も高まり、教育と研究の両面において新たな可能性が開かれると期待されます。このような背景から、理工学研究科は 2013 年度から、女子中高生が理系に進学するのを応援するプロジェクトに取り組んでいます。このプロジェクトの企画・運営は、理工学研究科に設置された男女共同参画ワーキンググループが行いました。多忙な中を絶妙な協力と集中力により、大きな成果をあげたワーキンググループのメンバーをはじめ、このプロジェクトの主役として大活躍した、学生・大学院生の皆さんに心から感謝の意を表します。

1) http://www.djrenrakukai.org/enquete.html

2) https://www.elsevier.com/research-intelligence/campaigns/gender-17

3) http://www.stat.go.jp/data/kagaku/kekka/youyaku/pdf/27youyak.pdf

4) http://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/h28/zentai/html/honpen/b1_s06_02.html

理工学研究科長　可知直毅

本報告書は、首都大学東京　都市教養学部理工学系・大学院理工学研究科における男女共同参画の推進にむけて、女子中高生の理系進学に特に焦点をあてた平成28年度の取り組みを述べたものです。

内閣府に男女共同参画局がおかれ、政府により男女が社会における対等なパートナーとして参画できる施策が進められるなか、大学においても研究教育機関としての取り組みが求められています。平成28年版男女共同参画白書［概要版］によると、平成27年度における大学卒業後ただちに大学院に進学した割合は、男子14.8%に対し、女子5.8%です[1]（参考：平成25年度（平成26年版男女共同参画白書［概要版］）の割合は男子15.0%、女子6.0%[2]）。大学への進学割合は男子の方がもともと高いこと、大学院進学率は理系の方が文系よりも圧倒的に高いことを考えると、女子が理系の高等教育を受ける割合は非常に低いと考えられます。本学においても理工学系における女子の割合は、生命科学コース以外はおしなべて低くなっています。

もし才能や意欲があるにも関わらず、理系進学を諦める女子学生がいるとすれば、どういった理由があるのでしょうか。これまでの取り組みの中での中学・高校教員との話し合いから、次の２点が浮かび上がってきました。

・中学や高校で数学に対する苦手意識を持ってしまい、理系への入試を諦める。

・将来設計における不安や、女子が理系に進むことを心配する周囲の意見に影響される。

そこで、以下の２つをねらいとした取り組みを行うことにしました。

① 数学は受験のためだけではなく大学以降においても使うことや、数学の重要性や面白さを伝えることで、興味や勉強の優先度を高めて、やる気を引き出す。

② 中高生と年齢の比較的近いロールモデルを見てもらうことで、自身の将来像をイメージし、不安を解消してもらう。

本学でのこの取り組みは平成25年度に始まり、初年度は４校、次年度には２校の出張講義と大学説明会における個別説明会を行ってきました。いずれも大変よい反響を得ています。出張講義では、大学生・大学院生のプレゼンテーションとグループディスカッションを通して女子高校生に数学の重要性や面白さを伝えてもらい、女子中高生に理系進学を考えるきっかけを提供してきました。

本年度は出張講義の代わりに本大学の大学祭に参加して、展示および個別相談を行いました。展示では、設定した「テーマ」を各専攻独自の視点でみつめた研究内容を発表しました。これは女子中高生に大学に入ってからの専門分野の内容をイメージしてもらうための良い参

考資料になったと思います。また、昨年度までに引き続いて，本年度も２回行った大学説明会での個別相談では、様々な専攻の学生が女子中高生の相談に乗りました。年齢の近い学生との個別の話し合いを通して、女子中高生それぞれのニーズに合った取り組みができたと考えています。アンケート結果をみても、おしなべて好評でした。これらの活動が将来、女子の理系進学に繋がっていくことを期待しております。実施にあたっては、ダイバーシティ推進室とも連携し行いました。ご協力いただいた各関係部局の皆様、熱心に活動された皆様に深く感謝いたします。

1) http://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/h28/gaiyou/index.html (p.23)
2) http://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/h26/gaiyou/index.html (p.30)

2016年度　首都大学東京理工学系男女共同参画ワーキンググループ
委員長代理　高津飛鳥

2 プロジェクトの趣旨

理系の諸専攻が協働で行う。
理系進学のための「数学を中心とした学習の動機付け」に取り組む。

生徒と年齢の近い学部生・大学院生が関わる。
理系の研究と理系科目への向き合い方を等身大で伝える。

本学への受験目的ではなく、長期的な視点に立って取り組む。
広く理系女子の進学を応援する。

3　組織

■　理工学系男女共同参画ワーキンググループ

委員長	可知直毅	(理工学研究科長、生命)
委員長代理	高津飛鳥	(数理)
委員	荒畑恵美子	(物理)
委員	阿部穣里	(化学)
委員	高橋　文	(生命)
委員	中村成志	(電気電子)
委員	古島　剛	(機械)
委員	小原弘道	(機械)

アドバイザ	小林正典	(全学ダイバーシティ委員、数理)
	服部久美子	(2014年度委員、数理)
	福田公子	(生命)
	五箇繁善	(2014年度委員、電気電子)
	首藤　啓	(2013年度委員、物理)

会計事務	牛尾洋子	(化学)

■　大学説明会

第１回　大学生・大学院生のための理系女子進学応援隊

担当教員：高津飛鳥（数理）・古島　剛（機械）

GPアシスタント：

数理科学・学部４年２名

数理情報科学・博士前期１年７名

物理学・学部４年２名、博士前期１年２名、 博士後期１年２名

分子物質化学・博士前期１年５名、博士後期１年１名

生命科学・博士前期１年２名

電気電子工学・学部４年２名、博士前期２年１名

機械工学・学部４年３名、博士前期２年１名

ヘルスプロモーションサイエンス・博士前期１年１名

第２回　大学生・大学院生のための理系女子進学応援隊

担当教員：阿部穣里（化学）・中村成志（電気電子）

GPアシスタント：

数理情報科学・博士前期１年７名

物理学・博士前期１年１名、博士後期１年１名

分子物質化学・博士前期１年５名、博士後期１年１名

生命科学・学部３年１名、博士前期１年２名

電気電子工学・学部４年１名、博士前期１年２名

機械工学・学部４年２名、博士前期１年１名、博士前期２年１名

■　大学祭における展示と個別相談会

担当教員：高津飛鳥（数理）・髙橋　文（生命）

展示

GPアシスタント：

数理科学・学部４年３名

数理情報科学・博士前期１年３名

物理学・学部４年２名、博士前期１年２名、博士後期１年２名

分子物質化学・博士前期１年３名（準備：博士前期１年２名）

生命科学・学部４年１名、博士前期１年２名

電気電子工学・学部４年２名

機械工学・学部４年１名、博士前期１年１名

ヘルスプロモーションサイエンス・博士前期１年１名

個別相談会

GP アシスタント：

数理科学・学部４年２名

物理学・博士前期１年１名、博士後期１年１名

生命科学・博士前期１年２名

電気電子工学・学部４年１名

機械工学・学部４年１名

■　報告・交流会

担当：高津飛鳥（数理）

4　平成 28 年度会計報告

予算　　(単位:円)

費目	金額
理工学研究科・学生教育経費	500,000
理工学研究科長アルバイト費	105,120
合計	605,120

決算　　(単位:円)

費目	項目	金額
人件費 (GP アシスタント及び臨時職員雇用)	7 月大学説明会	158,750
	8 月大学説明会	133,520
	大学祭	167,850
	事務アルバイト	145,000
	(小計)	605,120
残額		0
合計		605,120

5　活動報告

5-1: 活動概要

(1)　大学説明会

南大沢キャンパスにて、“大学生・大学院生のための理系女子進学応援隊”として、「数理科学」、「物理学」、「化学」、「生命科学」、「機械工学」、「電気電子工学」の６専攻がそれぞれブースを構え、各専攻の学生が中高校生に理系生活や研究内容の紹介、学習や進学へのアドバイスをするなどの個別相談を７月と８月に行った。

(2)　大学祭における展示と個別相談会

大学祭において「数理科学」、「物理学」、「化学」、「生命科学」、「機械工学」、「電気電子工学」の６専攻がそれぞれブースを構え、各専攻の学生が中高校生に理系生活や研究内容を紹介、個別相談会を開催し、学習や進学へのアドバイスを11月に行った。

(3) 報告・交流会

今年度の活動を報告するとともに、来年度の活動に向けて学生・院生と教員の交流会を12月に行った。

【スケジュール】

7/17（日）　大学説明会
第１回｜大学生・大学院生による理系女子進学応援隊
（女子中高校生 106 名、保護者 35 名）

8/21（日）　大学説明会
第２回｜大学生・大学院生による理系女子進学応援隊
（女子中高校生 66 名、男子高校生 2 名、保護者 23 名）

11/5（土）　大学祭における展示と個別相談会
（展示参加者数：236 名、個別相談会参加者数：17 名）

12/16（金）理系女子数学応援プロジェクト報告・交流会
（参加者数 28名）

5-2: 活動内容

(1)大学説明会

第１回｜大学生・大学院生による理系女子進学応援隊

① 概要

日時: 2016 年 7 月 17 日（日）11：15-16：30

場所: 南大沢キャンパス 12 号館 106 室

担当教員：高津飛鳥（数理）・古島　剛（機械）

GPアシスタント：

数理科学・学部４年２名

数理情報科学・博士前期１年７名

物理学・学部４年２名、博士前期１年２名、博士後期１年２名

分子物質化学・博士前期１年５名、博士後期１年１名

生命科学・博士前期１年２名

電気電子工学・学部４年２名、博士前期２年１名

機械工学・学部４年３名、 博士前期２年１名

ヘルスプロモーションサイエンス・博士前期１年１名

参加者数: 141 名

（うち女子中高校生 106 名、保護者 35 名）

② 会場の様子

来場者数は 11:15-12:00 に 23 名、12:00-13:00 に 37 名、13:00-14:00 に 22 名、14:00-15:00 は 23 名、15:00-16:00 に 33 名、16:00-16:30 に 3 名であった（図 1）。参加者数は昨年度の倍近い数に上った。

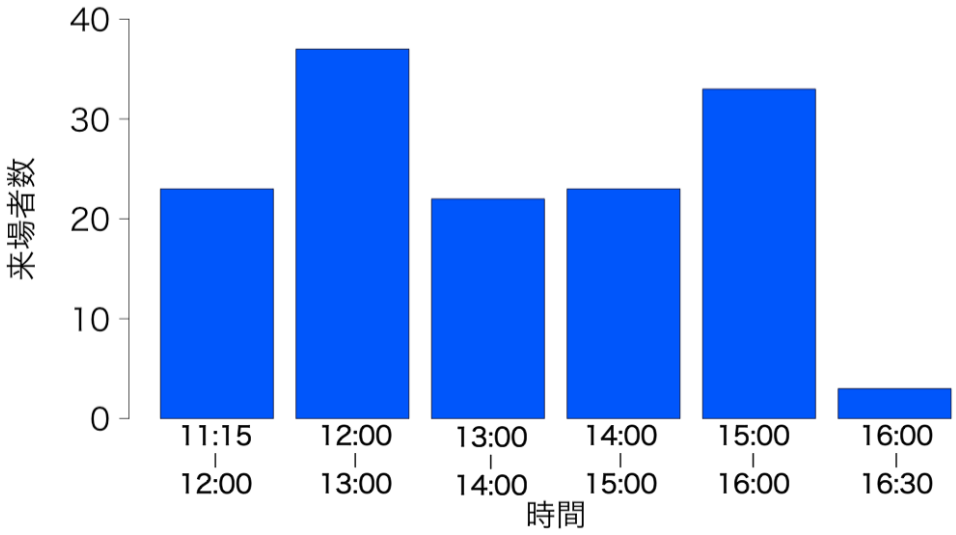


図 1.　来場者数の推移

今回も去年に引き続き６つのブース（数理、物理、化学、生命科学、電気電子、機械）を設置して、大学院生（GP アシスタント）と学部４年生（臨時職員）が対応した。教室の前後のホワイトボードには、“理系の大学生活”と称して「実際の大学生・大学院生の１週間の生活スケジュール」や、「自分が高校生だったときに現在、所属しているコース・専攻を志望したきっかけや理由」、「入学前に思っていたこと」などの情報を掲示し（図 2）、各コースの机には学生が使用している参考書やノートなどを展示した。

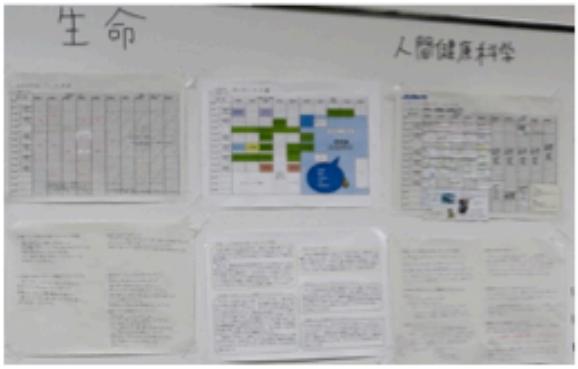
昨年度に比べ、高校二年生以下の来場者が多く、進路（分野）が未決定の生徒や、とりあえず理系の話を聞きたいという生徒もいた。相談の内容は、勉強の仕方、研究の内容、キャンパス生活についてなど多岐に渡ったようである。また保護者のみ来場したケースでは、親元を離れ一人暮らしをすることに関わる質問などを受けた。

③　感想と意見

相談者の生徒たちは、年齢の近い大学生・大学院生とフランクに話しをし、有意義な交流ができていたと思われる。今年度も去年同様、都市環境学部やシステ

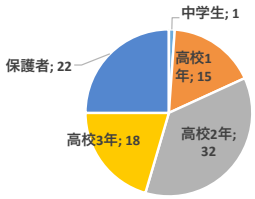
ムデザイン学部の相談も本会場で実施していると勘違いしたケースが多くみられ、対応を検討する必要があるだろう。

図2. 掲示したポスター

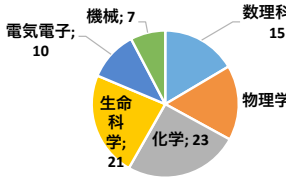


大学生・大学院生による理系女子進学応援アンケート集計結果（回答者数・87 名）

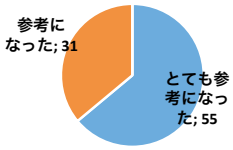
学年	中学生	1
	高校1年	15
	高校2年	32
	高校3年	18
	保護者	22
	その他	0



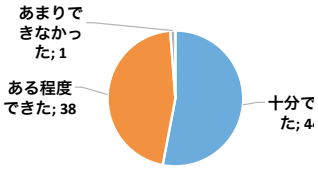
Q1	どのコースの相談会に参加しましたか?	
	数理科学	15
	物理学	15
	化学	23
	生命科学	21
	電気電子	10
	機械	7



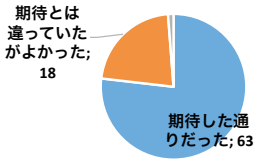
Q2	今回の企画は進路を考えるための参考になりましたか?	
	とても参考になった	55
	参考になった	31
	あまり参考にならなかった	0



Q3	数学や理系進学に関する相談ができましたか?	
	十分できた	44
	ある程度できた	38
	あまりできなかった	1



Q4	本日の内容は期待したとおりでしたか?	
	期待した通りだった	63
	期待とは違っていたがよかった	18
	期待とは違っていた	1



＜アンケートの自由記述欄の内容＞

【高校１年】

- 面白かった。
- 説明してくださった方が皆さん面白かったです。
- 機械工学コースの方のお話がとても面白かったです。ありがとうございました。
- 大学院生になると研究が多くて大変だと思いました。ありがとうございました。
- ゼミナール入試についてや、サークル活動についてなど、様々なことを質問させていただいたのですが、どの質問にも本当に丁寧に親身になって答えてくださって本当に参考になりました。今日は来て本当に良かったです。長い時間お疲れ様でした。ありがとうございました。ゼミナール入試などに向けこれからも勉強頑張ります。

- 分からないことを教えてくださって、ありがとうございました。
- １つ１つの質問にとても丁寧に答えてくださり、進路を考える材料になりました。

【高校２年】

- 学科の選び方がよくわかる説明だった。
- 勉強のことを教えていただけて良かったです。違う学部のことも優しく教えて頂きました。
- 生命科学コースに行こうとしたけれど化学コースでも聞けたのでよかったです。
- 明るく楽しく話せた。正直な声が聞けてよかった。よい時間を過ごせた。
- 人がいないブースでの私語が大きくて相談が聞き取りにくかった。
- わからないことが多かったのですが、話を聞けて興味をもてた。
- 色々と親切に教えていただけてうれしかったです。ありがとうございました。
- 様々なことを教えて頂き、とても参考になりました。ありがとうございました。

【高校３年】

- 数理の人は個性的だときいていましたが、とても優しそうな人ばかりで安心しました。
- とても親切でした。うれしかったです。
- ガイダンスでは聞けないことや分からないことを詳しく聞くことができ、学生生活についても聞くことができたので、とてもよかったです。

- 学科以外についての質問など参考になった。
- とても参考になりました。ありがとうございます。
- 学生の方とお話しするとためになることをたくさん聞けました。

【保護者】

- 本日はありがとうございました。
- 学部のガイダンスだけではわからない実際の大学で学ぶことや、学生生活などほか聞けてとてもよかったです。
- 聞きたいブースには時間足らず行けなかったが、他のブースの学生が声をかけてくれて話が聞けた。ありがとうございました。
- 聞きたかった内容（ゼミナール入試）について担当してくださった方が、その入試で入学されていたので大変詳しくお話して下さり、大満足でした。本日こちらの相談会に来て本当に良かったです。現在高１なのですが、今後、受験に向けてどのように取り組んでいったらよいか具体的にイメージすることができました。本当にありがとうございました。
- 希望しているコースがなかったのは残念でした。大学生活の最初の不安なところは丁寧に説明してくださって良かったです。
- たくさんの掲示を見せてもらい参考になりました。丁寧に教えてもらいました。
- 学生の現実の声（掲示物）がとてもよかったです。ありがとうございます。
- ありがとうございました。大学生活の様子がわかりました。
- 丁寧に教えて頂き、とても参考になりました。娘も更に興味を持ったようです。ありがとうございます。
- 都民ではないが、がんばらせたい。環境が良いので学生がのびのびしていて良いと思った。

第２回｜大学生・大学院生による理系女子進学応援隊

① 概要

日時: 2016 年 8 月 21 日（日）
11：15〜16：30
場所: 南大沢キャンパス 12 号館 106 室
担当教員：阿部穣里（化学）
中村成志（電気電子）
GPアシスタント：

数理情報科学・博士前期１年７名
物理学・博士前期１年１名、博士後期１年１名
分子物質化学・博士前期１年５名、博士後期１年１名
生命科学・学部３年１名、博士前期１年２名
電気電子工学・学部４年１名、博士前期１年２名
機械工学・学部４年２名、博士前期１年１名、博士前期２年１名

参加者数: 91 名（うち女子中高校生 66 名、男子高校生２名、保護者 23 名）

② 会場の様子

例年と同様、コース説明会後に少しずつ人が集まるといった状況であった。来場者数は 11:15 から 12:00 は 21 人、12:00 から 13:00 は 12 人、13:00 から 14:00 は 14 人、14:00 から 15:00 は 20 人、15:00 から 16:00 は 23 人、16:00 から 16:30 は 1 人と推移した（図 1）。参加者数は 91 人で昨年度より若干減少した。ただし、保護者の参加者数が減少していたため、女子学生の参加者数自体は昨年度より増加した。

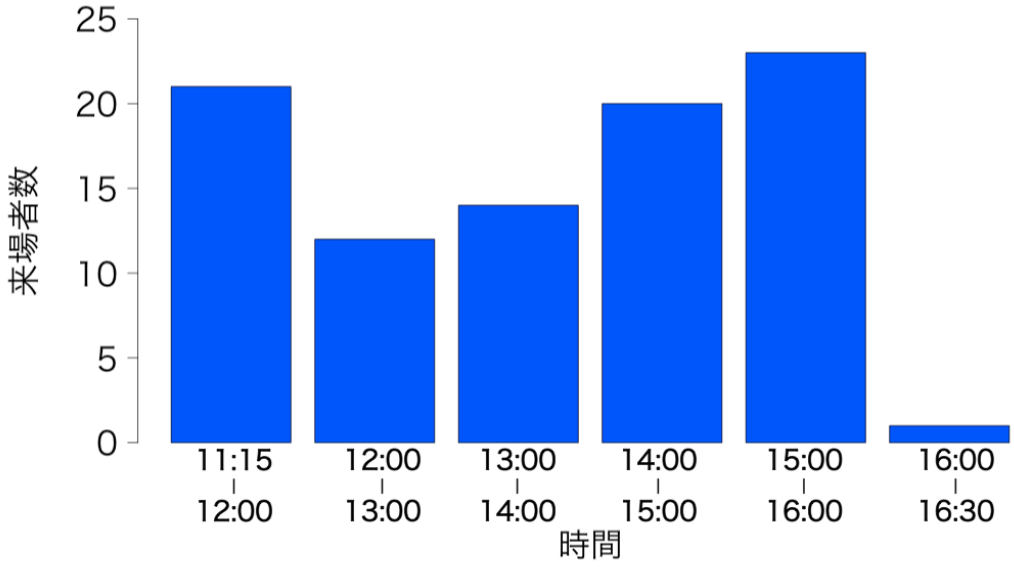


図 1. 来場者数の推移

会場には６つのブース（数理、物理、化学、生命科学、電気電子、機械）を設置して、大学院生（GP アシスタント）と学部生（臨時職員）が対応した。教室の前後のホワイトボードには、“理系の大学生活”と称して「実際の大学生・大学院生の 1 週間の生活スケジュール」や、「自分が高校生だったときに現在､所属しているコース･専攻を志望したきっかけや理由」、「入学前に思っていたこと」などを掲示した。今回は特に、これらの掲示資料が好評で、多くの来場者が楽しそうじっくりと見て回っていた。

例年と同様、高校二年生以下の来場者数が多かった。今回は、理系・文系を決めかねていた学生が、相談するブースに迷うケースが例年より多くみられ、複数のコースを回っていろいろとアドバイスを受けていた。相談内容はおおむね、勉強の仕方、研究の内容、入試の仕組み、キャンパス生活についてなどであった。

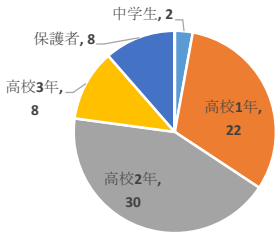
③　感想と意見

例年に比べ、生徒一人当たりの相談時間が長かったように感じられた。年齢の近い大学生・大学院生と気さくに話しができ、有意義な交流ができたためと考えられる。臨時職員/GP アシスタントの大学生・大学院生がとても親身になって丁寧に受け答えをしてくれたことで、相談者が質問しやすく居心地の良い場となったためだろう。協力してくれた臨時職員/GP アシスタントの皆さんに感謝したい。

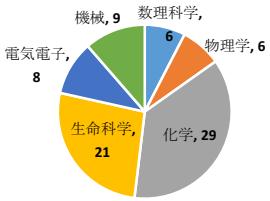
＜会場の様子＞

④　大学生・大学院生による理系女子進学応援アンケート集計結果（回答者数・70 名）

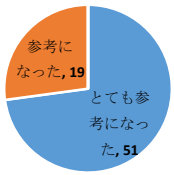
学年	中学生	2
	高校1年	22
	高校2年	30
	高校3年	8
	保護者	8
	その他	0



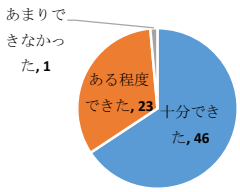
Q1	どのコースの相談会に参加しましたか？	
	数理科学	6
	物理学	6
	化学	29
	生命科学	21
	電気電子	8
	機械	9



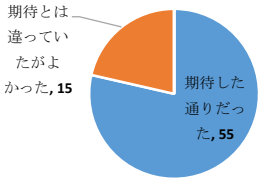
Q2	今回の企画は進路を考えるための参考になりましたか？	
	とても参考になった	51
	参考になった	19
	あまり参考にならなかった	0



Q3	数学や理系進学に関する相談ができましたか？	
	十分できた	46
	ある程度できた	23
	あまりできなかった	1



Q4	本日の内容は期待したとおりでしたか？	
	期待した通りだった	55
	期待とは違っていたがよかった	15
	期待とは違っていた	0



＜アンケートの自由記述欄の内容＞

【高校１年】

- 正直、文系理系で悩む段階ですら無かったけど、そんなでも励ましてくださってありがたかったです。
- 楽しかったです。
- 丁寧にご回答いただいて、気になっていたことを解決することができた。
- ありがとうございました。

- 良かったです。ありがとうございました。
- 今やるべきことがわかりました。ありがとうございました。
- 選択についてとても悩んでいたので大変参考になりました。
- とても丁寧に質問に答えて下さり、わかりやすかったです。 特に、数学の勉強の仕方についてはとてもためになり、これから実行していこうと思います。本当にありがとうございました。
- 笑顔で分かりやすく学科についてなど教えていただけてとても話しやすかったです。ありがとうございました。

【高校２年】

- 色々な話を気軽に聞くことができました。やっぱり学生の皆さんにお話を聞くことができて楽しかったです。ありがとうございました。
- 長い時間話してくれてよかった。
- どんな質問にも細かく答えて下さって、とても分かりやすくて「来て良かったな」と思えました。ありがとうございました。
- 理系の現状を聞けてよかった。
- 丁寧に教えて頂くことができてよかったです。分かりやすい説明ありがとうございました。
- どんな質問にもちゃんと答えてくれて優しかった。ありがとうございました。
- とてもわかりやすい説明で疑問や不安が解け、本校に入学したいという気持ちが高まりました。
- 丁寧に詳しく教えて頂きました。この大学のよい所がよくわかりました。ありがとうございました。
- 相談に乗っていただいきありがとうございました。教えてくださったことを今後にいかしてみようと思います。
- どこに行っても英語はついてきて大事なんだと思った。とても参考になりました。
- 受験について良く分かりました。
- 優しくて可愛かったです。がんばろうと思いました。

【高校３年】

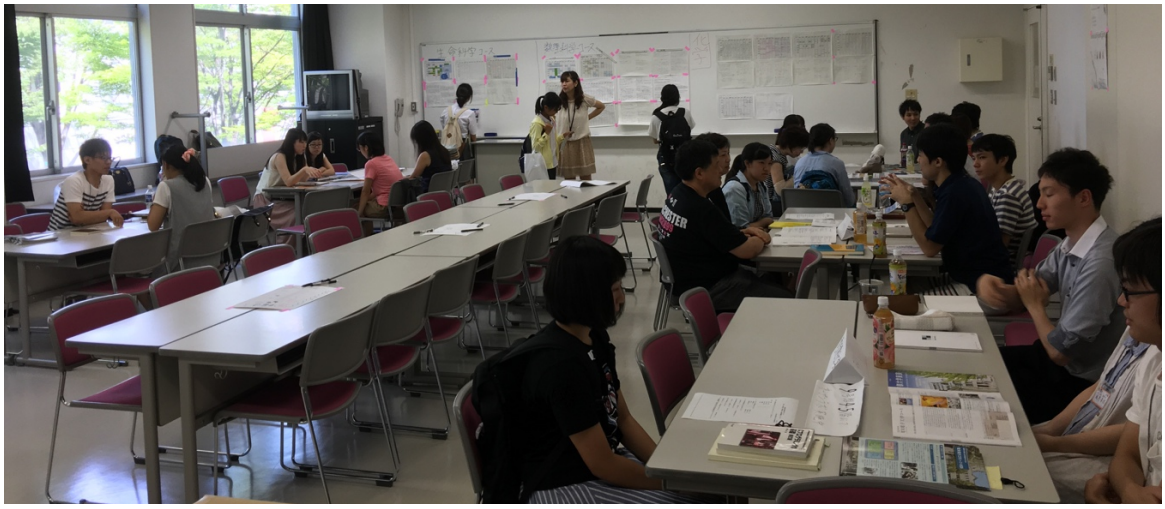
- とても参考になりました。ありがとうございました。
- とても参考になりました。
- 研究室の話や、大学の授業についていろいろ聞くことができてよかったです。

【中学生】

- 丁寧に答えて頂き嬉しかったです。

【保護者】

- たいへん丁寧にご説明頂き、参考になりました。ありがとうございました。
- 期待以上でした！



（2）大学祭における展示と個別相談会

南大沢キャンパスのテクノスクエアで６専攻（数理科学、物理学、化学、生命科学、機械工学、電気電子工学）による展示、およびイニシアティブスペースで個別相談を行った。

① 概要

日程：2016 年 11 月 5 日（土）

担当教員：高津飛鳥（数理）・髙橋　文（生命）

⑴展示

時間: 10：30-16：30

場所: 南大沢キャンパス 12 号館 106 室

GPアシスタント：

数理科学・学部４年３名

数理情報科学・博士前期１年３名

物理学・学部４年２名、博士前期１年２名、博士後期１年２名

分子物質化学・博士前期１年３名（準備：博士前期１年２名）

生命科学・学部４年１名、博士前期１年２名

電気電子工学・学部４年２名

機械工学・学部４年１名、博士前期１年１名

ヘルスプロモーションサイエンス・博士前期１年１名

参加者数: 236 名

⑵個別相談会

時間: 12：00-15：00

場所: 南大沢キャンパス 8 号館イニシアティブスペース

GP アシスタント：

数理科学・学部４年２名

物理学・博士前期１年１名、博士前期１年１名

生命科学・博士前期１年２名

電気電子工学・学部４年１名

機械工学・学部４年１名

参加者数: 17 名（保護者を除く）

② 会場の様子

今回は大学祭開催時期の秋に関連する「運動」と「食欲」をテーマに各専攻の学生がそれぞれの視点でポスター展示を行った。「運動」をテーマにしたのは、数理、物理、ヘルスプロモーションサイエンスである。一方、「食欲」をテーマにしたのは、物理、化学、生命、電気電子、機械であった。

各専攻展示ポスターの前には、説明を行う大学院生（GP アシスタント）または学部４年生（臨時職員）を１、２名ほど配置した。ポスター横には、説明をする学生の簡単な自己紹介（名前、学科、学年＋α）ボードを設置しており、その自己紹介ボードをみて、進学などの相談・質問に訪れる女子中高生の姿がみられた。

イニシアティブスペースで行った個別相談では１時間に２名の学生で対応した。ポスターボードには、７月８月に行った大学説明会に掲示した “理系の大学生活”と称した「実際の大学生・大学院生の１週間の生活スケジュール」や、「自分が高校生だったときに現在、所属しているコース・専攻を志望したきっかけや理由」、「入学前に思っていたこと」などのポスターを張りだした。

GP アシスタント不在の専攻もあったため、具体的な質問に答えられない場面もあったが、大学生活などの一般的な質問には丁寧に対応しており、好評だった。

③ 感想と意見

展示では、午前中の来場者が非常に少なかった。これは8 号館のオープンラボが開始される時間前であったため、11 号館まで足を伸ばす人が少なかったことが原因のようである。また、個別相談の会場のイニシアティブスペースを通る人も少なかった。オープンラボとセットにして大学側からあらかじめ宣伝してもらうなど、企画を知らせる取り組みを積極的に行う必要がありそうだ。

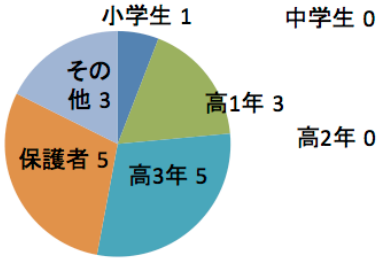
＜展示会場の様子＞

＜個別相談会場の様子＞

④ アンケート集計結果

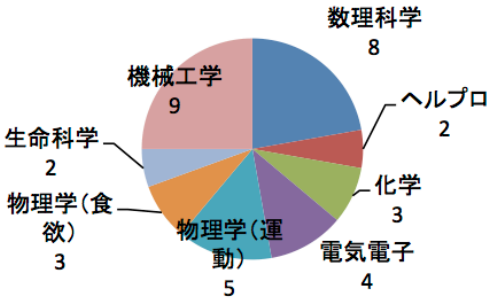
展示（回答者数：17 名）

学年		
	小学生	1
	中学生	0
	高1年	3
	高2年	0
	高3年	5
	保護者	5
	その他	3



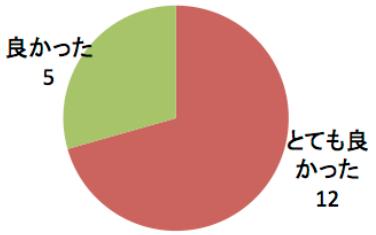
Q1　どのコースの展示を見ましたか？（複数可）

数理科学	8
ヘルプロ	2
化学	3
電気電子	4
物理学（運動）	5
物理学（食欲）	3
生命科学	2
機械工学	9



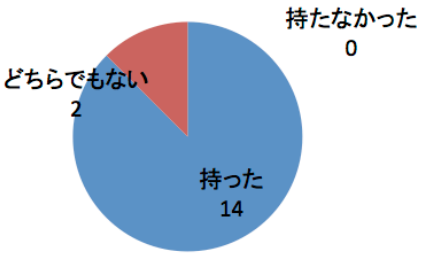
Q2　今回の展示はいかがでしたか？

とても良かった	12
良かった	5
どちらでもない	0
つまらなかった	0
とてもつまらなかった	0



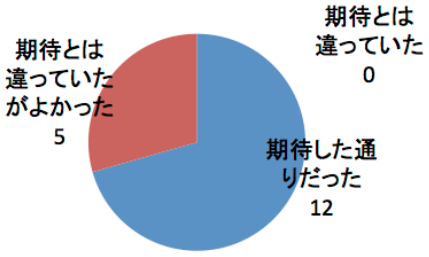
Q3　理系により興味を持ちましたか？

持った	14
どちらでもない	2
持たなかった	0
無回答 1	



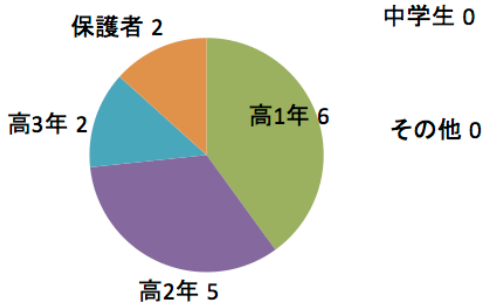
Q4　本日の内容は期待通りでしたか？

期待した通りだった	12
期待とは違っていたがよかった	5
期待とは違っていた	0



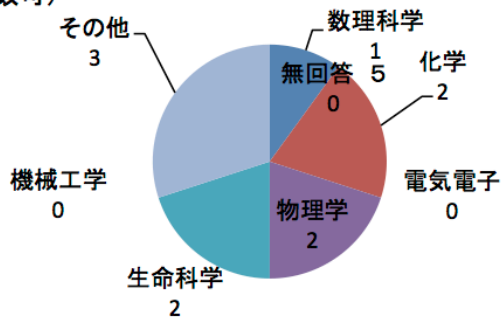
個別相談会（回答者数：14 名）

中学生	0
高1年	6
高2年	5
高3年	2
保護者	2
その他	0



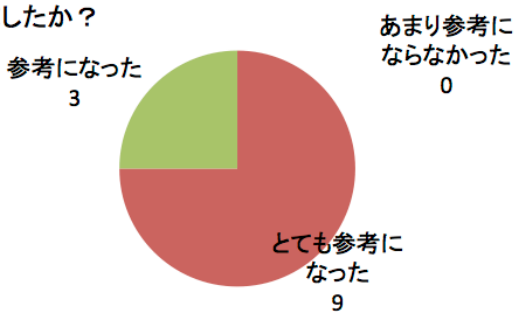
Q1　どのコースの相談会に参加しましたか？（複数可）

数理科学	1
化学	2
電気電子	0
物理学	2
生命科学	2
機械工学	0
その他	3
無回答　5	



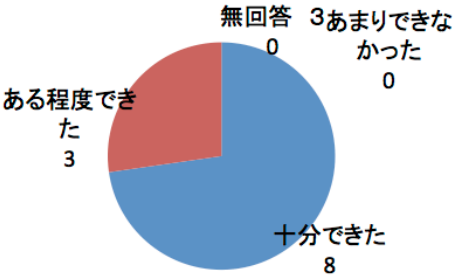
Q2　今回の企画は進路を考えるための参考になりましたか？

とても参考になった	9
参考になった	3
あまり参考にならなかった	0
無回答　2	



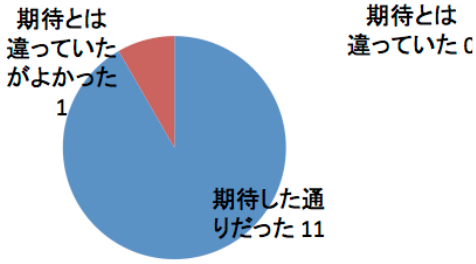
Q3　数学や理系進学に関する相談ができましたか？

十分できた	8
ある程度できた	3
あまりできなかった	0
無回答　3	



Q4　本日の内容は期待通りでしたか？

期待した通りだった	11
期待とは違っていたがよかった	1
期待とは違っていた	0
無回答　2	



＜「展示」のアンケートの自由記述欄の内容＞

・ 自分の興味のあることで楽しかった（高１）
・ 質問にたくさん答えていただき、ありがとうございました。まだ１年ですが大学の理系進学に不安を抱いていたので大学生の方々のお話を聞くことができてよかったです。企画内容もとても面白かったです（高１）
・ 説明がわかりやすかった（高１）
・ 学生生活の様子など聞けてよかったです. ありがとうございました（高３）
・ 次の持久走大会は髪を伸ばしてお団子ヘアーで上位を狙います！（高３）
・ おもしろくためになりました！（保護者）

＜「個別相談会」のアンケートの自由記述欄の内容＞

・ 大学のキャンパスライフがわかってよかったです！（高１）
・ 細かい質問に答えていただき、とても心強かったです（保護者）

(3) 報告・交流会

２回のオープンキャンパスおよび大学祭での取り組みを中心に男女共同参画 WG の活動を報告するとともに、プロジェクトの主役として大活躍した学生・大学院生の皆さんに心から感謝の意を表する会を企画し開催した。さらに会を通じて、普段は話す機会の少ない他分野の学生と交流を図り、そして次年度以降の参加を検討している学生・大学院生に向けた情報提供の機会として実施した。

① 概要

日時: 2016 年 12 月 16 日(金) 17:00-19:30
場所: 首都大学東京 8 号館 1 階 イニシアティブ交流スペース
担当: 高津飛鳥 (数理)
参加者:総計 28 名 (途中入退場含む)
内訳-学部生 4 名、修士院生 11 名、博士院生 2 名、教員 9 名、職員 2 名

【プログラム】

I) 報告会 (17:00-17:50) 可知直毅 (研究科長)、高津飛鳥 (数理)
II) 交流会 (17:50-19:00)

② 報告会内容

報告会においては、高津が実施状況、内容、アンケート結果などを発表した。個別の活動について触れる際は、随時、担当学生の感想や今後に向けた意見を聞いた。どのプロジェクトにおいても、女子中高生のみならず活動に協力してくれた SA・TA およびに担当教員にとって有効な機会であったことが認識された。

③ 交流会内容

報告会に引き続き開催した交流会においては、貴重なワインや日本酒の差し入れとともに、昨年も大好評であった美味しいイギリス料理そして豚汁とおでんを囲んで、活動での様々な経験や印象に残ったエピソードなどが話題にのぼり、専攻分野を超えて積極的な交流が行われた。来年度の参加を検討している学部生や本活動に関心のある大学院生も加わり、楽しく交流を深めることができた。

④ 今後に向けて

報告・交流会は本年度の活動のまとめとして、とても有意義な機会であった。女子中高生に理系分野進学を選択するきっかけを与えるにはどうしたらよいかについて、分野の枠を超

えて、情報や考えを共有できた。また各分野の学生・院生そして教員がざっくばらんに本活動および普段感じることについて話をできるよい機会でもあった。来年度も多くの理系学生とともに積極的な活動が行えたら幸いである。

報告・交流会ポスター

理系女子進学応援プロジェクト
報告・交流会

日時：2016年12月16日 (金)　17:00～17:40　報告会
17:40～19:00　交流会

※事前予約不要・途中入退室自由

場所：８号館１階　イニシアチブスペース

１年間の活動報告と交流会を行います。

★今年の活動に参加できなかった人、来年度の参加を考えている人大歓迎★

交流会では軽食を用意しています。（学生・院生は参加費無料！）

2016年の活動内容

☆７月８月・大学説明会の個別相談会
女子中高生の受験や進学、大学生活の悩みや質問に答えました。

☆11月・大学祭の展示と個別相談会
「運動」や「食欲」をテーマにそれぞれの専攻の視点での展示を行いました。

問合せはこちらまで→理工男女共同参画WG
高津飛鳥(数理情報科学)
asuka@tmu.ac.jp

2016 年度　理系女子進学応援プロジェクト報告書

2017 年 3 月 31 日

首都大学東京　理工学研究科
男女共同参画ワーキンググループ